



取扱説明書 (設置と使用)

MULTI LM V2



目次

一般的な注意事項	3
設置の際の注意事項	3
マシンの操作とお手入れに関する注意事項	3
操作パネル	4
始動	5
抽出操作	6
デカフェコーヒー	7
グループユニットのマシニングクリーニング手順.....	8
ミルカーのマシニングクリーニング手順	9
ミルカーの清掃方法	10
マシンの機能メッセージ一覧	11

一般的な注意事項

ご使用の前にこの取扱説明書をよく読んでください。安全に設置と操作およびお手入れに大切なことが書かれています。
この取扱説明書は何時でもご覧になれるようにお手元に大切に保管をして下さい。又、このマシンは本来の使用目的以外にはお使いにならないで下さい。
(コーヒー、カプチーノ、お湯の抽出)

- 本機械は電気製品です。電気製品を安全に取り扱う方法で十分に注意をして取扱いをして下さい。
- 機械内部の配線や部品などには触らないで下さい。
- 使用中に異常を感じたら電源スイッチを切り、本体の電源コードを抜きお買い上げ店に連絡をして下さい。
- 修理は弊社の技術者が行いますので、絶対に分解したり、修理をしないで下さい。
- 漏電遮断器やサーキットブレーカーが作動をしたときには使用を中止してお買い上げ店に連絡をして下さい。
- 本体の近くには可燃物を置かないでください。また、周囲には十分に換気ができるスペースを設けてください。
- 本体に水をかけたり、ぬれた手で操作をしないで下さい。感電の危険があります。
- 電源コードは踏んだりつまずいたりしない様に注意をして設置してください。
- 長時間使用しないときには電源プラグを抜いて置いてください。
- 清掃やお手入れをする時には電源プラグを抜いてから行なってください。
- マシンを廃棄される時には最寄りの自治体の条例に従って適切に行なってください。

設置の際の注意事項

正しく設置を行なわないと、怪我や傷害をおったり物的損害が発生をする恐れがあります。
梱包を解いたら内容物を確認してください。梱包材などは小さなお子様にとって危険なことがありますのでその取扱いと処理には十分に注意をして下さい。
本体を電源と接続する前に十分な電圧や電気容量、適切な接続方法で接続をすることができることを確認してください。

設置面が平らで、丈夫で水平な場所に設置してください。

周囲の壁や機器類などから十分な換気スペースをとって設置してください。

直射日光や周辺温度が33℃以上になる場所には設置することは控えてください。

操作中に蒸気、水やお湯の飛沫が周囲に飛散することがあるので、周囲の機械、家具、フロアなどにコーヒーやお湯が飛散した場合には十分に清掃をして下さい。

凍結のある場所に設置をしないで下さい。

使用する水は清潔な水道水をお使い下さい。塩素を除去できる浄水器やミネラル成分(カルシウム分)等を除去できる浄水器をおすすめします。

マシンの使用可能範囲

気温: 5 - 45℃

湿度: 80% 以下

カルシウム固着を防止する措置をしてください。

マシンの操作とお手入れに関する注意事項

マシンが正しく機能をするために取扱説明書の手順どおりに操作をすることが重要です。また、マシンのお手入れ方法を十分に理解している使用者が日常のメンテナンスを行なう必要がありますので、取扱説明書を良くお読みになり日常のお手入れを正しく行なってください。

熱湯やスチームで火傷や怪我をしないように十分に注意をして下さい。抽出ノズルからお湯やスチームが出ていなくても、火傷の可能性のある温度に達していることがあります。マシンに不慣れな方、小さなお子様が誤って危険な箇所に触れないように十分に注意をして下さい。

マシンの給水タンクに水が入っていない状態でマシンを使うことが無いように十分に注意をして下さい。また、水は必ず最低一日1回は交換をして下さい。

交換するタイミングはマシンを使用される環境により異なります。

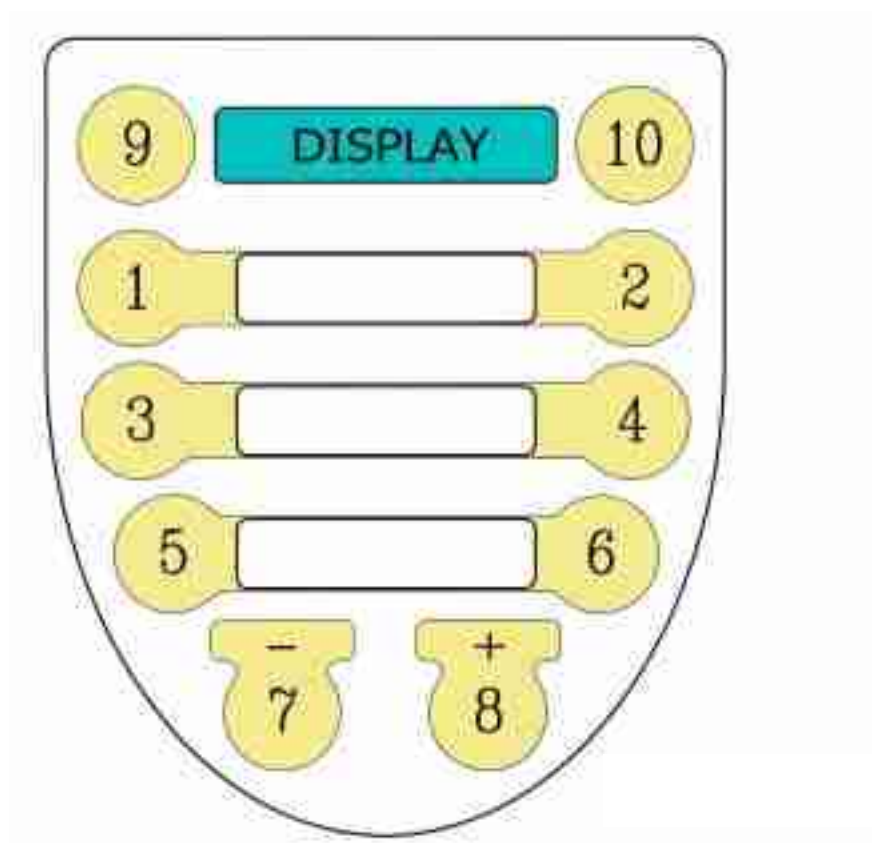
ご使用中にご不明な点、不具合が発生をしている可能性があるときにはすぐに販売店にご連絡下さい。

マシンの機械番号は本体前面パネルに記載しています。

操作パネル

	ボタン番号	MULTI-LM V2
抽出ボタン	1	エスプレッソ 1杯
	2	エスプレッソ 2杯
	3	レギュラー 1杯
	4	レギュラー 2杯
	5	カプチーノ
	6	ラテマッキャート
	7	スチーム
	8	給湯
作動ボタン	9	ON-OFF/ 終了
	10	デカフェ/クリーニング 開始

MULTI LM V2 操作パネル



マシン始動

水道元栓を開き、電源コードをコンセントに差し込みます。
マシンの前面パネルは閉めておいてください。コーヒーかす受け箱は差込口に差し込まれていなければなりません。
マシンは自動的に、電源OFFの状態になります。 ディスプレーに次の表示が出ます。

Multi V2 Carimali
Rev. X.XX

REV. X. XXX にはマシンの改定番号（バージョン）が表示されます。
数分後に、ディスプレイに次の表示が出ます。

YY--MM--DD

YY--MM--DD は設置年月日を表します。
数分後に、ディスプレイに次の表示が出ます。

OFF

ON / OFF ボタン⑨を押します。マシンは **ON** の状態になります。
ディスプレイに次の表示が出ます。

Filling up boiler

この状態はマシンに給水中で、水位がレベルセンサーのところに達すると、自動的に止まります。ディスプレイに次の表示が出ます。

Please wait
XXX°C

XXX ° C はボイラーの温度を示します。
この間ボイラーの加熱が行なわれます。
設定した温度に達するまで、約 10-15 分間待ってください。

注意！：

- 1) マシンは始めに給湯ノズルの電磁弁を開閉します。次に、ボイラー温度が 50°C に達しましたらスチームノズルの電磁弁が自動的に開かれ、90°C になるまではそのまま開いた状態を保ちます。これは、マシンを正常に立ち上げるため、ボイラー内部の空気を抜きます。
- 2) ボイラー温度が 50°C に達すると、マシンはグループのすすぎを開始します。この操作でコーヒー抽出系統内のエア抜きが行なわれます。
ディスプレイに次の表示が出ます。

Gruppe autoclean

自動すすぎ作業が終了すると、マシンは継続して設定温度になるようにボイラーの加熱を行ないます。マシンが設定温度に達するとディスプレイに次の表示が出ます。

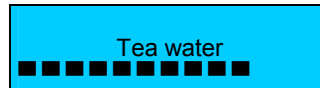
Select drink

この段階で操作ボタンによる操作が可能になります。

抽出操作

1▶ 熱湯の抽出

給湯ノズルの下にカップを置き、給湯ボタン⑧を押します。ディスプレイに次の表示が出ます。



選択した熱湯抽出操作は、熱湯ボタンを押すと停止をすることができます。
ディスプレイ下段のインジケータが抽出量を示しています。

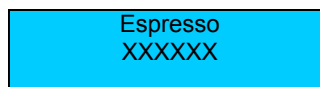
2▶ コーヒー・カプチーノ・ミルクの抽出。

カップを抽出口の下に置き、メニューボタンを選んで押します。ディスプレイに次の表示が出ます。



“XXXXXX” は選択したボタンのメニュー名です。
この動作を止める為には、もう一度同じボタンを押します。ミルクとコーヒーを使うメニューボタンを押した時には、最初
に同じボタンを押した時にミルクの抽出が止まり、続けて同じボタンを押すとコーヒーの抽出が止まります。ディスプレイ
下段のインジケータが抽出している量を示しています。

注意： 抽出したメニュー内容を保存することが可能です。ディスプレイに次の表示が出ます。

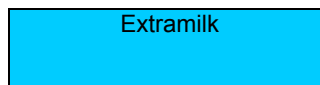


上記のメッセージは“XXXXXX” 名のボタンのメニュー内容が保存しされたことを示します。

注意： メニュー内容は抽出した後で保存されます。

3▶ 追加ミルクフォーム機能

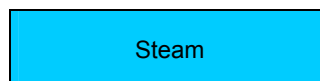
ミルクの追加使用機能はフォームミルクを次の方法で抽出する時に使用されます。
ミルクを使用するメニューボタンを選んで押し続けます。 2秒後にフォームミルクが抽出されます。
押しているボタンを離すと抽出が止まります。
ディスプレイに次の表示が出ます。



注意：
追加ミルク使用機能はセルフサービス機能とコーヒードリンクの時には作動しません。また、マシンには予め追加ミルク機
能のプログラムが必要となります。

4▶ スチームの噴出。

ミルクやココアを温めるには次の方法があります。スチームノズルを暖めたいカップの中に入れ、⑦ボタンを押してスチー
ムを出します。止める時にはもう一度⑦ボタンを押してください。
ディスプレイに次の表示が出ます。



警告:

- a) スチームの噴出は高熱のために火傷をすることがありますので、スチームノズルの取扱いには十分注意してくださ
い。
- b) 他のメニューを抽出している時にスチームノズルを使用すると、スチーム抽出のメッセージは表示されません。
- c) お湯の抽出又はミルクを使ったメニューを抽出している時にはスチームを同時に使用することはできません。
- d) この機能はセルフサービス機能を使用しているときには利用できません。

デカフェ・コーヒーの抽出

Decaf/Clean (デカフェ・クリーニング) ボタン (10番) を押します。ディスプレイに次の表示が出ます。



- デカフェ・コーヒー投入口を開きます。
- コーヒーパウダーを投入します。
- デカフェ・コーヒー投入口を閉めます。
- 抽出ボタンを選んで押します。ディスプレイに次の表示が出ます。
-



“XXXXXX” はデカフェ・コーヒーを使用して抽出をするように選択したボタンのメニュー名です。ディスプレイ下段のインジケータが抽出している量を示しています。

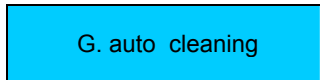
注意:

- ・ デカフェ・コーヒー投入口はセルフサービスマシンには装備されていません。

自動クリーニング

1▶ グループの定時自動クリーニング

最後にコーヒー抽出をしてから何も抽出しない状態で15分経過後及びその後3時間経過毎に、自動的に抽出シリンダーの洗浄が作動します。洗浄している間ディスプレイに次の表示が出ます。



2▶ ミルカーの定時自動クリーニング

最後にミルクメニューを抽出してから何も抽出しない状態で15分経過後及びその後3時間経過毎に、自動的に抽出シリンダーの洗浄が作動します。

グループユニット (コーヒー抽出部分) のマシンクリーニング手順

1▶ Clean ボタン (N° 10 番) を 5 秒間押し続けます。  Select cleaning Group cleaning	2▶ Clean ボタン (N° 10 番) を押しでクリーニングを開始します。  Group cleaning	3▶ マシンの前面パネルを開けます。  Group cleaning Open front panel And clean
4▶ 付属の掃除ブラシ等でグループ本体、シューター、ピストンのOリングに残っているコーヒーを取り除きます。  Group cleaning Close Door	5▶ 前面パネルを閉じます。  Group cleaning Close Door	6▶ 再び前面パネルを開けて、洗浄剤1粒を抽出シリンダーに投入します。  Group cleaning Insert cleanser
7▶ 洗浄行程が終了するまで待ちます。すすぎのために同じ作業を水だけを使用して行います。  Group cleaning		

注意:

▶ クリーニングの最中に電源プラグが抜いたり、ON/OFFボタン (9 番ボタン) が操作されて洗浄行程が途中で停止した場合には、次に電源が投入された時点で上記の3番目の操作から開始されます。

ミルカーのマシンクリーニング手順

1▶ ミルク容器からミルクチューブを抜きます。 	2▶ 500cc ぐらいの容器を用意して、洗浄剤 (30cc) と水 (300cc) を混ぜて洗浄溶液を作ります。 	3▶ ミルクチューブを洗浄溶液の入った容器に入れます。 
4▶ Clean ボタン (⑩) を5秒間押し続けます。  Select cleaning Group cleaning	5▶ + / - ボタンを押してミルククリーニングを選択します。  Select cleaning Milker cleaning	6▶ Clean ボタン (⑩) を押して洗浄行程を開始します。  Milker cleaning

注意： 洗浄行程の最後にディスプレイに次の表示が出ます。

Clean again using only water
Press Clean key

- 容器に冷水のみを入れた後にミルクチューブをもう一度容器に入れます。
洗浄剤が容器に残った場合は、1 度洗浄剤を捨ててから水を補給してください。
- Clean ボタン (⑩) を押して再度水だけで洗浄行程を行なわせます。

ミルカー本体の清掃方法

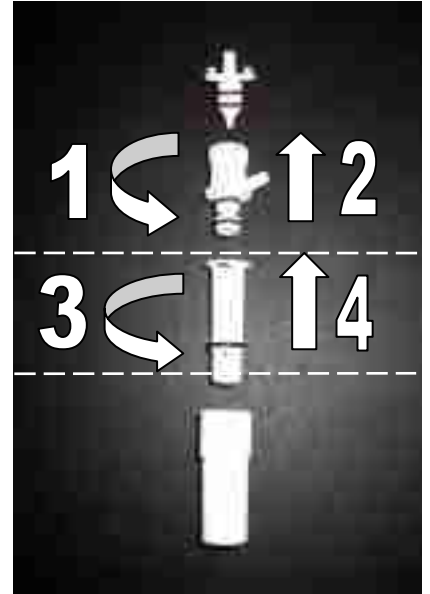
1▶ コーヒー抽出口からミルカーを取り外します。



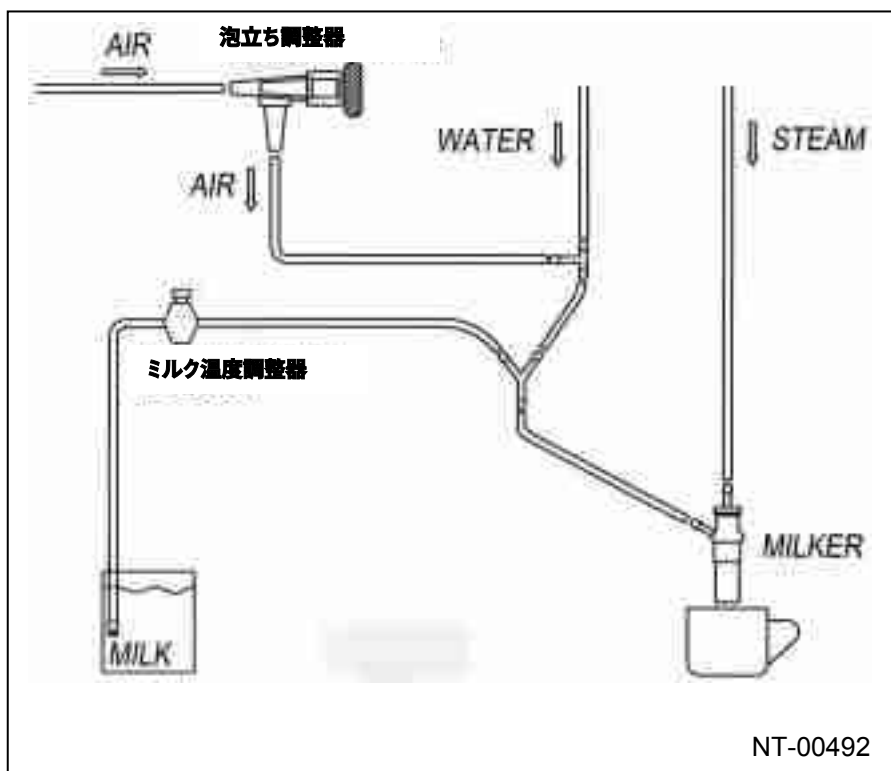
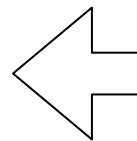
2▶ ミルカーをホルダーから取り出します。



3▶ ミルカーを分解します。(最初に反時計回りにひねり上方向に引っ張りながら下の写真のように分解します。) 各部品は手洗いでよく洗浄して下さい。特に穴にミルクの残りがなく、Oリングも状態が良いことを確認してください。



4▶ 組立図通りのミルク系統になるようにミルカーを再度組み立て直します。



注意:

A▶ 泡立ち調整

ミルカーにはミルクの泡立ちに必要な空気の量を設定するための泡立ち調整器がマシンに装備されています。円形のつまみを時計回りに回すと密度の濃いキメの細かな(気泡の小さな)泡になります。また、反時計回りに回すとボリュームのある(大きな気泡を持つ)泡になります。(上記の図を参照)

B▶ ミルク温度調整

ミルカーには吸い込むミルクの量を減らすためにミルク温度調整器が装備されています。円形のナットを時計回りに回すと温度が高くなります。また、反時計回りに回すと温度が低くなります。(上記の図を参照)

マシンの機能メッセージ一覧

1▶ コーヒークラス受け箱が満杯になった時のメッセージ

Select Drink
Grounds Bin Full

原因： コーヒークラス受け箱が一杯になっている。コーヒークラス受け箱に溜まった分量が設定をした杯数を超えました。
結果： コーヒーを使用するメニューボタンが使用できなくなります。
処置： カス受け箱に溜まっているコーヒークラスを捨てます。ディスプレイが下の表示に代わるのを確認してから空にしたカス受け箱を取り付けしなおします。

Select Drink
Grounds Bin open

2▶ コーヒークラス受け箱が正しく挿入されていない時のメッセージ

Select Drink
Grounds Bin open

原因： コーヒークラス受け箱が正しく挿入されていません。収納したことを感知するマグネットにきちっと触れていません。
結果： コーヒーを使用するメニューボタンが使用できなくなります。
処置： カス受け箱を正しい位置に挿入しなおしてください。

3▶ 前面パネルの開閉アラーム

Machine Off
Open Door

原因： 前面パネルが開いています。開閉したことを感知するマグネットにきちっと触れていません。
結果： マシンの機能が停止します。
処置： 前面パネルをきちっと閉めてください。

4▶ グループ洗浄アラーム

Select drink
Please Clean

処置： グループのユニットのマシンクリーニングを行ってください。
注意： このメッセージが出てもマシンは抽出を続けることができます。

5▶ ミルカー洗浄アラーム

Select drink
Please Clean

処置： ミルカーのマシンクリーニングを行ってください。
注意： このメッセージが出てもマシンは抽出を続けることができます。

6▶ 規定量以上のコーヒー粉が抽出シリンダーに投入された時のアラーム

Too much coffee

原因： 規定量以上のコーヒーが抽出シリンダーに投入されたか、Ｏリングの汚れによりピストンが抽出シリンダーに正しく挿入されていない。

処置： グループの自動クリーニングを行なってください。

7▶ コーヒーホッパーに豆が不足状態のメッセージ

ディスプレイに次の表示が出ます。

Empty Hopper

原因： コーヒー豆ホッパーにコーヒーが無いので抽出シリンダーにコーヒーが投入できません。

結果： コーヒーを使用するメニューボタンが使用できなくなります。

処置： コーヒーホッパーのストッパーが閉まっているか確認してください。コーヒーホッパーに豆を投入してください。

8▶ デカフェ・コーヒーが無いメッセージ

ディスプレイに次の表示が出ます。

Missing Decaf.

原因： デカフェ・コーヒーが投入されていないので抽出シリンダーにコーヒーがありません。

結果： デカフェコーヒーメニューボタンが使用できなくなります。

処置： C l e a n / D e c a ボタン (⑩) を押してアラームをリセットしてください。
デカフェ・コーヒーをデカフェ投入口から投入してください。

9▶ 浄水器アラーム

90 Change H2o filter

このアラームメッセージはディスプレイにコード90番として表示されます。

原因： フローメーターに予め設定をした最大水量（リットル）を超える量の水が使用されました。

結果： 特になし。

処置： 弊社サービスマンを呼んで浄水器のカートリッジを交換してください。

サービスマンが交換を行い、表示されたアラームをリセットします。

注意： このアラームが出ても抽出は継続可能です。

10▶ グループユニットのメンテナンスアラーム

91 Group maintena.

このアラームメッセージはディスプレイにコード91番として表示されます。

原因： グループユニットが設定したサイクル数を超過して稼動しました。

結果： 特になし。

処置： 弊社サービスマンを呼んでください。

サービスマンがグループユニットの点検を行い、アラームをリセットします。

11▶ マシンのメンテナンスアラーム

92 Maintena.

このアラームメッセージはディスプレイにコード9 2番として表示されます。

原因： マシン本体が設定をしたサイクル数を超えて稼動したか、点検日を過ぎました。

結果： 特になし。

処置： 弊社サービスマンを呼んでください。

サービスマンがマシンの点検をおこない、磨耗などがおきて交換が必要となった部品を取り替えて、アラームをリセットします。

故障かなと思ったら・・・

それはどんな場合？	何をするか（１）部品交換
電源が入らない	① ブレーカーが落ちていないか確認して下さい ② コンセントが抜けていないか確認して下さい
コーヒー温度が低い	① 蒸気圧が上がっているか確認して下さい ② ピストンパッキンを交換してください
ミルクの量が減った	① 蒸気圧が上がっているか確認して下さい ② ミルカーの分解清掃を行なって下さい ③ ミルカー用パッキンを交換して下さい ④ ミルカージョイント部分をはめ直してください （かみ合わせが悪い場合があります） ⑤ ミルカ用シリコンチューブを交換してください ⑥ 冷蔵ユニットが冷えているか確認してください
コーヒーを抽出する時： １．味がうすくなった。 ２．コーヒーの出方が悪い。 ３．パッキンが切れてしまった。 ４．抽出量が減った ５．コーヒーの泡立ちが悪い	① ピストンのパッキンを交換する。 ② 上ピストン下部のフィルターを拭く ③ ホッパー（豆の容器）の内部を清掃してください （豆の油が付着しますと、新鮮な豆もすぐ劣化致します。 内部に油が付着しないよう、こまめに拭いてください）
コーヒーを抽出する時： コーヒーがよく出てこない	① ピストンを清掃する ② 上ピストン下部のを拭く（目詰まり）
マシン下より水漏れ	① 排水ホースが詰まってないか確認してください （牛乳等をトレイに流しますと、脂肪分が固まり、流れにくくなります。流さないようにしてください）

※ ここに書いてある処置をしたのに、直らない場合、或いは、ここに書いてある以外の状態が発生した場合は、メーカーにご連絡下さい。修理致します。

Memo



ブルーマチックジャパン株式会社

本社：神奈川県横浜市都筑区茅ヶ崎東 4 丁目 5 番 13 号

TEL.045-947-0800（代表）

大阪（営）：大阪府西区阿波座 1-9-9 1F

TEL.06-6531-1333（代表）